

令和4年度 横須賀南高等学校 第3回卒業式 式辞

- ただいま福祉科 77 名、普通科 104 名、合計 181 名の皆さんに卒業証書をお渡ししました。あらためて横須賀南高校 3 期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
そして、ご列席の保護者の皆さまにおかれましては、ここまでお子様を支え、励まし、見守っていただきありがとうございました。無事に卒業を迎えることができましたことを、本校教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。
- 本日新たな旅立ちの日を迎える卒業生の皆さんを心から祝福し、はなむけのことばを送ります。
- 皆さんは横須賀南高校の 3 期生ですが、横須賀南高校としての最初の入試を突破して 3 年間南で学んだ初めての学年になります。言ってみれば本当の意味での南の 1 期生といえるかもしれません。皆さんが入学した 3 年前は新型コロナウイルスの対応に社会が翻弄されていて学校も休校となりました。皆さんは予定されていた 4 月 7 日に入学式ができず実際に入学式ができたのは 6 月でした。ちなみに当時 4 月に入学式ができなかったのは神奈川県で本校を含め 4 校だけでした。
- 中でも南は新しい学校として船出したばかりなのに新入生の皆さんに会えず、現在の担任の先生たちは毎日皆さんのことを心配していました。入学式前の 5 月に教科書を渡すため皆さんに登校してもらった時の様子を私は校長室の窓から見ていました。その時のあなたたちは制服をちゃんと着て笑顔を浮かべ落ち着いた様子でした。その様子を見て私はこの子たちは大丈夫だ。この困難な状況を乗り越え南高校を作ってくれと思いました。きょうあらためて成長した皆さんの姿を見てその時の思いは間違っただけではなかったと感じています。皆さんは明るさと笑顔を忘れずに南の新しい道を作り、広げてくれました。よくがんばりました。ありがとう。感謝しています。

- そんなあなたたちに一つ伝えたい言葉があります。「一日一生」という言葉です。これは天台宗の酒井さんというえらいお坊さんの言葉です。「朝起きて夜寝るまでの一日が一生であり、今日が終われば明日はまた新しい人生が始まる。だから、きょう一日を一生だと思って大切に生きよう」という意味です。人生は永遠ではありません。喜びも悲しみもすべては過ぎ去っていきます。過ぎたことをくよくよしていても仕方ありません。だから過去のことにとだわったり、未来を怖がったりすることなく今目の前にある時間を精一杯生きてほしいと思います。過去は変えられないというけれど、今を充実して幸せに過ごすことで過去の見え方も変わってくるし、やって来る未来も変わると 생각합니다。どうぞ今という時間を大切にしてください。
新型コロナウイルスによる難しい高校生活を乗り越えた皆さんなら大丈夫です。自分を信じて自分自身の人生を歩んでいってください。
- ちなみにこの「一日一生」という言葉は元メジャーリーガーの松井秀喜選手の座右の銘でもあるそうです。
- 最後に、成人年齢が18歳となりました。皆さんは成人として新しい生活を迎えることとなります。成人としての責任を忘れず輝かしい未来に向けて、胸を張って一步を踏み出してください。私たちはいつでも皆さんを応援しています。
健康には気をつけてくださいね。
- それでは新たな世界に向かって、行ってらっしゃい。お元気で。

令和5年3月2日

神奈川県立横須賀南高等学校

校長 布施和久